

町田市のごみ処理施設で火災発生

町田市バイオエネルギーセンターの火災について

問い合わせ先 循環型施設管理課
☎ 042・797・2732

「燃やせるごみ」が発火!!

2023年11月4日、町田市バイオエネルギーセンターの「バイオガス化施設前処理設備」で火災が発生しました。けが人はありませんでしたが、設備の一部が損傷したため、バイオガス化処理及び発電ができません。



火災の原因

「燃やせるごみ」の袋に混入していた小型充電式電池が原因とみられています。

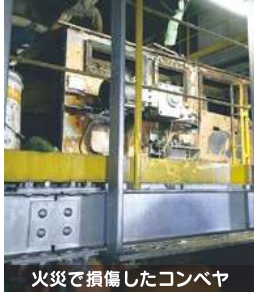


東京消防庁

小型充電式電池が原因のごみ袋の燃焼状況(提供:東京消防庁)

火災現場から出てきた危険物・発火物

消防署が火災原因を調査した結果、燃え殻の中から小型充電式電池やスプレー缶などが出てきました。



火災で損傷したコンベヤ



スプレー缶



ライター



乾電池



小型充電式電池

火災原因となるごみの捨て方

ごみの分別方法、出し方について

問い合わせ先

ごみ収集課
☎ 042・797・7111

ライター類

直接、集積所のかご(蛍光管・水銀体温計・ライター)へ



スプレー缶、カセットガスボンベ

中身を使い切り、穴を開けないで集積所のかご(カン)へ



炭酸カートリッジ

特別団体(小山田桜台・公社森野住宅・シーアイハイツ・都営武蔵岡住宅・玉川学園と東玉川学園の一部)は有害ごみのかご(電池)へ。



電池類 電池類は捨てる際に絶縁処理が必要なものと、不要なものに分かれます。

直接集積所のかご(電池)へ



乾電池
コイン型電池



絶縁処理してから集積所のかご(電池)へ



様々なタイプの充電式電池

小型充電式電池
電動工具バッテリー
掃除機用バッテリー
自転車バッテリー

絶縁処理の方法

ビニールテープを電池の電極部分に貼り付けてください。



ポタン型電池
掃除機用バッテリー

電池にリサイクルマークが表示されている場合は、テープはマークが隠れないように貼ってください。



小型家電製品 内蔵電池が取り外しできる・できないで分かります。

電池取り外し可能な製品の例



電池が取り外せない製品の例



電池
取り外し

電池
内蔵したまま

小型家電回収ボックスに投入



小型家電回収ボックス設置場所



リサイクル広場※

※投入口サイズ(15cm×30cm)を超える製品は、リサイクル広場で引き取ることができます。(指定収集袋に収まらない大きさ、10kgを超えるものは不可)

リサイクル適性 (A)

この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

ごみナクナーレは、環境に配慮した紙とインクを使用しています。

町田市ごみ分別アプリ

ごみの捨て方の確認には専用アプリが便利です。右のQRコードからダウンロードできます。

Google Play

App Store

